

伊達な旅ガイド

Vol.153

笑顔咲きたび 伊達な旅
仙台 Sendai & Miyagi, where smiles blossom 宮城



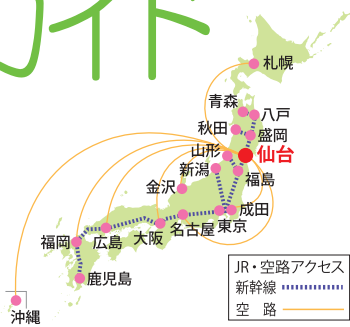
伊達な旅紀行

いいトコ!
みやぎ

毎週月曜日
19:54~20:00
BS-TBSにて大好評放送中



宮城県
観光PRキャラクター
むすび丸



今回の伊達な旅MAP

登米・東和IC ひここの里
登米IC
柳津
桃生津山IC
三陸自動車道登米東和ICから約15分
BRT運行区間
南三陸町

JR・空路アクセス
新幹線
空路

4月7日 放送 南三陸シルクロード



南三陸町入谷地区は、仙台藩養蚕発祥の地。この地域の絹の品質は昔から評価が高く、1900年のパリ万博でグランプリを受賞しました。これらの養蚕や絹生産の歴史を伝える施設が「ひここの里」。繭細工を体験できる「シルク館」、江戸時代の建築物である「松笠屋敷」、地元の素材を使った料理が味わえる「ばっかり茶家」があり、のんびり過ごすことができます。町を訪れて、養蚕の歴史に触れてみませんか。



養蚕の歴史を聞いてみました

南三陸町農業委員会
会長 遠藤 重幸さん

「明治から昭和の初期まで、繭(蚕)を飼って、全国、世界に絹を発信したと聞いています。この辺には田んぼが少ないので、養蚕が現金収入につながるということで普及しました。今後も伝承していきたいと思っています」



ひここの里 Tel.0226-46-4310

シルク館

養蚕に関する器具や資料を展示する施設。

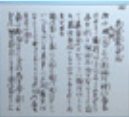


施設スタッフ「ひこるレディース」

山内 登美子さん

「砂金の産地だった入谷村が砂金を掘り尽くし、生活苦となったとき、やまのうちのじょう山内甚之丞さんが福島県の川俣に行って養蚕を修行し、養蚕を地域の生活を支える地元産業に発展させました」

みんなさんそうき
山内甚之丞の志を継いで書かれた「民家蚕桑記」



松笠屋敷

江戸後期の文化・文政時代に建てられた地方郷士の居宅。入るとすぐに土間がある農家の造りですが、反対側に正式な門があり、座敷の部分は武家屋敷の造りになっています。



ばっかり茶家

ひこるレディースが地元の素材にこだわった料理を作って提供しています。



日替り田舎ご飯

繭細工体験

ひこるレディースの指導で、繭を使った「シルクフラワー」などを作る体験ができます。



意外と簡単に
できました

